



No. 297

令和4年2月1日

トピックス ～ 「事業復活支援金」 ～

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対して、以前実施された「持続化給付金」「一時支援金」「月次支援金」に加えて、新たに事業の継続・復活を支援するため「事業復活支援金」が支給されることになりました。今号は事業復活支援金の概要についてご案内します。詳しくは当事務所にお尋ねください。

(1) 給付対象

①と②を満たす中小法人・個人事業者は、原則として業種や所在地を問わず給付対象となり得ます。

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者
- ② 2021年11月～2022年3月のいずれかの月「対象月」の売上高が、2018年11月～2021年3月の間の任意の同じ月「基準月」の売上高と比較して「50%以上」又は「30%以上50%未満」減少した事業者

* 計算に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策としての支援施策により得た給付金、補助金等は各月の事業収入から除きます。ただし、対象月中に時短要請等に応じて、それに伴う協力金等を受給する場合は「対象月中に時短要請等に応じた分」に相当する額を対象月の事業収入に加えます(給付額の算定においても同じ)。

(2) 給付額

中小法人は上限最大250万円を事業規模に応じて、個人事業者等は上限最大50万円を支給します。給付額の計算は、基準期間(*1)の売上高－(「対象月」の売上高×5か月分)となります。

(*1) 2018年11月～2019年3月／2019年11月～2020年3月／2020年11月～2021年3月の「基準月」を含むいずれかの期間

事業復活支援金の給付上限

売上高減少率	個人事業者	法人		
		年間売上高 1億円以下	年間売上高 1億円超～5億円	年間売上高 5億円超
50%以上	50万円	100万円	150万円	250万円
30%以上 50%未満	30万円	60万円	90万円	150万円

(3) 申請書類 (一時支援金または月次支援金を受給された方)

- ① 履歴事項全部証明書(3か月以内発行)(法人)または本人確認書類(個人)
- ② 收受日付印のある2019年度、2020年度及び選択する基準期間の全てを含む確定申告書類の控え
- ③ 対象月の売上台帳等
- ④ 振込先の通帳コピー(通帳のオモテ面と、オモテ面裏側の見開き面の2枚)
- ⑤ 代表者または個人事業者等本人が自署した宣誓・同意書

* 一時支援金および月次支援金を受給していない方は追加書類が必要になります。

《確定申告で「医療費控除」を受ける皆さまへお願い》

医療費の領収書等を、以下のように整理・集計をお願い致します。

- ① 受診者の「名前ごと」で、「病院・薬局等ごと」に集約をお願い致します。
- ② ①の集約の上で、「日付順」に整理をお願い致します。
- ③ ホッチキス止めはしないで、クリップ止めをお願い致します。
- ④ 「医療費通知」を添付する場合でも、10月(11月)以降の領収書等が必要になります。
- ⑤ 医療費に対する生命保険金等の給付がある場合は、お知らせください。

効率よく、スムーズに事務処理ができますよう、皆さまのご協力をお願い致します。

令和4年がスタートして早くも一か月が経過しました。昨年末まで落ち着きを見せていたコロナの感染状況が成人の日あたりから急速に感染者が急増しております。一般的にオミクロン型（最近「株」とは言いません。確かに、この「型」の方が適切な表現といえます。）は弱毒性で重症化する可能性は低いとされているものの、それに反比例するかの如く感染力はデルタ型の数倍とされ、先月末で国内新規感染者が一日当たり8万人を超えております。愛知県でも5千人を上回る状態になっております。一方、全世界では3億7千万人に達している状態です。感染拡大を抑止する決め手と期待されているワクチン接種も2回目の接種が済んだ人が1億人に近づいているものの3回目の接種者はまだまだ350万人前後という状況に留まっております。ワクチンの抗体能力は半年程度で半減してしまうという傾向があり、爆発的な感染を食い止めるためには3回目接種の勢いを一層強化するほかはなさそうです。とはいえ、ワクチン接種に対する考え方も様々であり、副反応への心配も含め全員一致ということは望めないものの、総体的にはより多くの人が接種することにより集団免疫の高まりを得て、最終的にはインフルエンザ並みの感染症に落ち着いてくれることを願うばかりです。幸いにして、小生は名古屋税理士会が手配した集団職域接種（会員のほか、職員や家族も対象になっております）の一環として2月7日に接種することになっております。1, 2回目はファイザー製でしたが3回目はモデルナ製のように。一説によれば、このパターンが抗体能力が一番高い？とされております。まー、それを信じて一日も早く安心感が得られればと期待している次第です。事務所の関与先でも従業員に陽性反応が出たり、家族が濃厚接触者になって、自宅待機を余儀なくされているという報告がちらほらと伝わってきております。病院でも、医療従事者が濃厚接触者とされたため、病床不足以前に診療体制が機能しないという深刻な事態が方々から報告されております。また、自宅療養者が遂に26万人を超えるという深刻な状態に陥っています。この自宅療養という名称も実態は自宅放置でしかなく、新聞報道では、「5人家族の全員が次から次へと感染し、高熱と関節の痛みで水分も取れず食欲もない状態で、地獄のような一週間だった」。この間、保健所の対応も能力の限界を超えている状態で、電話もなかなかつながらず、やっとつながっても「医療機関を自分で調べて受診するように」というお手上げ状態になっております。まだまだ感染状況のピークが見通せず、2月中はおろか、3月になっても深刻な状態が継続しているのでは、という悲観的な様相を呈しております。

一方、内外ともに、経済や政治・外交も不透明さと複雑な駆け引きが膨らんでおります。まずは、経済の先行指標と言われている株式市場では投資家がリスク回避に敏感となっております。とりわけ、GAF A等ハイテク株比率の高い米ナスダック総合株価指数の下落が著しく、個別銘柄の中では半額にまで急落している状況となっております。一方、先物商品やエネルギー・原油市場には投機的な資金が流入しているようで、インフレ傾向に対処すべく、FRBを始めとして世界の金融当局が金融引き締めを舵を切って世界景気の先行きも不透明感が強まっています。次いで、政治・外交方面では、今秋にアメリカでは4年に一度の中間選挙を控え、方や、中国では5年に一度の共産党大会があります。加えて、ロシアは自国の勢力圏を死守すべく、ウクライナのNATO入りをなんとしてでも阻止するために大規模な軍隊を国境周辺に展開しております。間もなく開催される北京での冬季オリンピックの閉幕後には、いよいよ台湾情勢を巡る米中の対決・駆け引きが本格化しそうです。また米欧とロシア間でもウクライナ情勢次第では最悪の展開になりかねません。

希望的観測としては、オミクロン型のコロナ禍が近々収束に向かい、経済社会活動が落ち着きを取り戻し、一人一人の庶民の暮らしが正常化していくことを願うばかりです。

《和奏・遼真通信》

和奏はいよいよ受験する高校を決めたようです。あとは、コロナに感染することなく、また、学校等で感染が発生して濃厚接触者にもならないよう祈るばかりです。

一方、遼真も寒さに負けず、感染の影響を受けずに登校しているようで、安堵している次第です。寅年にちなんで、遼真くんからお正月にもらったお手製レゴブロックのトラが事務所の玄関に飾られております。意外と手先が器用のようです。二人とも元気に登校して、普段通りの生活が送れていることが幸せに感じられるのも、現在の環境では貴重なことと実感しております。

（令和4年2月1日 所長 橋本）